

Libraree

いよいよ平成29年度も終わりに近づこうとしています。新年度迎えるにあたり、やり残したこと、しておきたいこと、残さずやり遂げてください。比較的余裕のあるこの時期、イラストが得意な人は表紙絵を描いてみませんか?そうでない人は、読書に勤しむのもよいでしょう。既に特別貸出期間に入っています。貸出冊数は10冊&貸出期限は始業式4/9(月)です。このチャンスを逃さずに!春休み中の図書館開館スケジュールは、入口のドアのところに掲示してあります。

『吉高の100冊2018』表紙絵募集

来年度の『吉高の100冊2018』の表紙絵を募集しています。
全校生徒の手元にあなたのイラストが!!!
新1年生の投票により決定♪採用者には素敵な賞品も…。

たくさんの
応募お待ち
しています



3月19日(月)締切

サイズ A5

出版界にも

将棋ブーム到来!

『盤上の向日葵』

柚月裕子 中央公論新社

山中で発見された白骨死体。現場に残された唯一の手がかりは伝説の名駒だった。4か月後、2人の刑事が竜昇戦の会場である天童に降り立つ。世紀の対局の先に待っていた、壮絶な結末とは…。



ひふみんこと、加藤一二三九段の大ブレイク、藤井四段(現在は六段)の登場、羽生善治永世七冠達成で国民栄誉賞受賞と続き、藤井四段は既に六段になり、話題が多い将棋界。出版界でも次々にこの三人に関する書籍が発売しております。来月発表になる《本屋大賞2018》の候補作品の中にも、将棋に関するミステリーが一冊ノミネートされているのです。作家さんによると書いている時はまさかこんなに将棋がブームになると思わずに、出版された時期がタイムリーで驚いているとのことでした。登場人物はモデルになった人がいるようで、かなりリアルに感じられ、また将棋界の仕組みもよくわかるので、いかにこの天才3人がスゴイのかも知ることができます。現在と過去を交互に綴り、読む手が止まりません。将棋界にはキレイな世界だけでなく、闇の部分があることを初めて知り、将棋と駒に魅せられる人びとの気持ちが、将棋をしない人でもジリジリ伝わる作品になっています!ブームに乗って、本屋大賞いい線いくのでは???

『天才棋士降臨 藤井聡汰』マイナビ出版 『将棋から学んできたこと』羽生善治 朝日新聞出版

『天才棋士 加藤一二三 挑み続ける人生』日本実業出版社

『ひふみんの将棋入門』加藤一二三 産経新聞出版 その他多数

New Arrival Books

■山梨と災害 鈴木 猛康編著 山梨大学地域防災・マネジメント研究センター

□闘いつづける力 福島 孝徳 徳間書店

■依存症からの脱出 つながりを取り戻す 信濃毎日新聞取材班編 海鳴社

□世界の不思議な図書館 アレックス・ジョンソン 創元社

■これは異常気象なのか 全3 保坂 直紀 岩崎書店

□世界の難民の子どもたち 全5 難民を助ける会監修 ゆまに書房

■15歳の短歌・俳句・川柳 全3 ゆまに書房

□グランドスタッフになるには <なるにはBOOKS> 京極 祥江 ペリかん社

■カズオ・イシグロ入門 日吉 信貴 立東舎

□ひとりじゃなかよ 西本 喜美子 飛鳥新社

■チュペローズで待ってる AGE22 / AGE32 加藤 シゲアキ 扶桑社